

研修テーマ	国語科「単元を貫く言語活動を位置づけた授業作り」について
開催日時	平成29年8月1日（火） 9：00～12：00
実施場所	大山町立名和小学校
指導・助言者	鳥取大学 地域学部 小笠原 拓 准教授

1 研修の実際

① 講義 「国語科における単元を貫く言語活動を位置づけた授業づくり」

「新学習指導要領を迎えるにあたって国語科の位置づけや流れ」

新学習指導要領を迎えるにあたって国語科の位置づけや流れについてポイントを押さえたお話をしただいた。こらからの時代を生き貫くために必要な力を、国語科でどのようにつけていくのかについて、大きく3つのことを挙げられた。それは、①読書指導の充実②「1.5次のことば」を育てる③社会に向けて自己を発信する力を高めるということだ。これを踏まえた上で、国語科の単元学習を考えていく必要がある。つまり、「対話と協働」「本物であること」を授業者が意識して、単元学習を組み立てていくことの大切さを説明された。

② 演習 教材研究…2学期の説明文教材の単元づくり（低・中・高学年グループで協議）

・学級の実態とつきたい言語能力を照らし合わせ、ねらい達成に向けたより効果的な言語活動と学習活動の流れを意識した単元構成をどのように仕組むのかを話し合った。話し合う中で、小笠原先生に適宜指導・助言を受けた。

○1 グループ低学年（1年生：説明文教材「いろいろなふね」）

・単元のゴールを「3つのヒントを用いたカードクイズ大会をしよう」と設定し、流れを以下のように考えた。①3ヒントクイズの見本をもとに見通しを持ち、学習計画を立てる。②文章の構成を考え、キーワードを読み取りまとめる。③あえて乗り物の役目・つくり・できることの3つにカテゴライズせずに、3つのよりよいヒントを考えクイズを作成することで必然的に教材文を読み取る。

○2 グループ低学年（1年生：説明文教材「いろいろなふね」）

・単元のゴールを「乗り物図鑑をつくろう」と設定し、流れを以下のように考えた。①前年度の1年生が作った図鑑や教師の見本を見て、学習に対する意欲を持つ。②4つの船の写真を見てイメージし、どんな船か考える。③どんな船かイメージが湧かない場合は、教材文に戻り書いてあることを読み取る。④他の乗り物でも同じように、どんな乗り物かイメージし、イメージできない場合は、図鑑などに書かれている文を必然的に読み取るようにする。

○3 グループ低学年（2年生：説明文教材「ビーバーの大工事」）

・単元のゴールを「動物のひみつクイズを出し合おう」と設定し、流れを以下のように考えた。①問題とその答えの作成の仕方を学習する。②自分がクイズにしたい動物を選んで、図書館で調べ情報活用能力を育てる。自分が納得のいくまでとことん調べて、よりおもしろい問題になるよう工夫をする。③考えたクイズを同級生か1年生、さらには地域の人に出題する。

○4 グループ中学年（3年生：説明文教材「もうどう犬の訓練」）

・単元のゴールを「総合の学習で調べた地域のことをリーフレットにまとめよう」と設定し、流れを以下のように考えた。①教師が作成したリーフレットを見て、要約の仕方やリーフレットに書く観点を理解する。②本文に書かれている盲導犬について、「どんな犬か」「どんな訓練か」など観点到

そってまとめる。③教材文で観点にそってまとめた方法を使って、総合の学習で調べた地域のことも、同じように観点にそってまとめることで、リーフレットを作成する。

○5 グループ中学年（4年生：説明文教材「くらしの中の和と洋」）

- ・単元のゴールを「いいことなるほどカードを紹介しよう」と設定し、流れを以下のように考えた。①和と洋で対比することを調べたい者同士でペアを作る。②要約の仕方や引用のルールを教材文で理解する。③リード文や引用文を書くためのカード作りをする。④ペアで自分が調べてまとめたカードを紹介し合う。

○6 グループ高学年（5年生：説明文教材「和の文化を受けつぐ」）

- ・単元のゴールを「和の文化について調べたことをALTの先生に伝えよう」と設定し、流れを以下のように考えた。①テーマを決めて学習計画を立てる。②文章構成図を作成する。③伝える観点を決める。④資料と文章を結びつける。⑤テーマ別で4人1組のグループを作り、情報カードを活用してまとめる。

2 成果

講義や演習を通して、国語科における単元を貫く言語活動を位置づけた単元づくりについての理解が深まり、そのための授業づくりをイメージすることができた。グループ協議で、国語科の授業づくりについての考え方を共有し情報交換し合うことで、魅力ある単元構想を練ることができた。また、児童の実態からつけたい言語能力を考え、ゴールを意識した単元の構成や学習材の活用の仕方などについての的確な助言をしていただき、2学期からの授業実践に期待が膨らんだ。

～研修後の感想より～

- ・新学習指導要領の捉え方について、知識の獲得のみならず、それをどう活用するかが大切だという点について共感できた。演習では、先生方とアイデアを出し合い、子どもが主体的に学べるような単元を構想することができたので、実りあるものになったと思う。
- ・講義では、これから先の世の中を生きていくためにつけたい力についての話にとっても共感して聞いた。そのような人間力をつけるための学習活動や方法をどのように工夫し、しくんでいくかが難しいところだと思うが、頑張りどころだ。演習では、グループの先生と意見を交流することで考えが深まったり新しい発見があったり。まさに、グループ学習そのものを体験した。忘れないうちに早く授業したくなった。
- ・新学習指導要領について具体的な例を示して話をされていたので、分かりやすかった。演習では、授業で大切にしたいことの事例を挙げながら話し合えてよかった。特に、実践の中で苦戦していることや悩んでいることについて共有できたり、解決のヒントになることを与えていただいたりして、ありがたかった。特に授業で大切にしたいこと「対話と協働」「本物」というキーワードを大切に今後も取り組みたい。

